

※データ作成前にお読みください

# PowerPointでの入稿データ作成について

- ① 弊社のテンプレートを使用してデータを作成する
- ② データ作成する上で、ご注意いただきたい点について
- ③ データ作成後のご入稿前にしていただきたい作業について（必ずご確認ください）
- ④ 封筒デザインについて

## ① 弊社のテンプレートを使用してデータを作成する

まず、ご使用される PowerPoint のバージョンに合わせてテンプレートを選びます。

2007 以降のバージョンをご使用される場合は拡張子が「.pptx」のファイルをお選びください。2007 よりも前の場合は「.ppt」のファイルをお選びください。

テンプレートのファイルを開くと、仕上りの線や印刷可能範囲を説明する枠、寸法線が入っていますので、これらを参考にさせていただきながら、データ作成を進めてください。

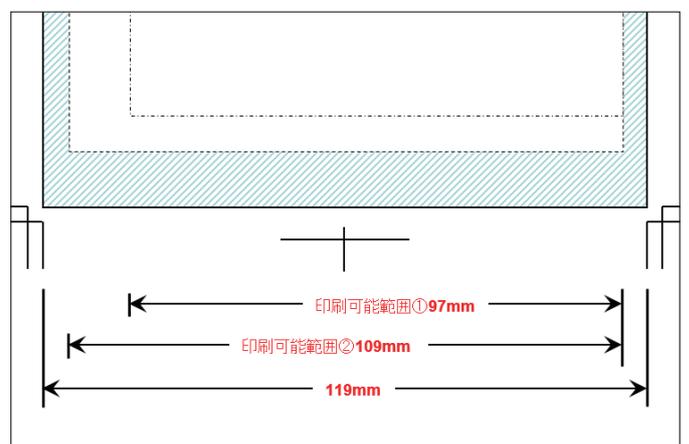
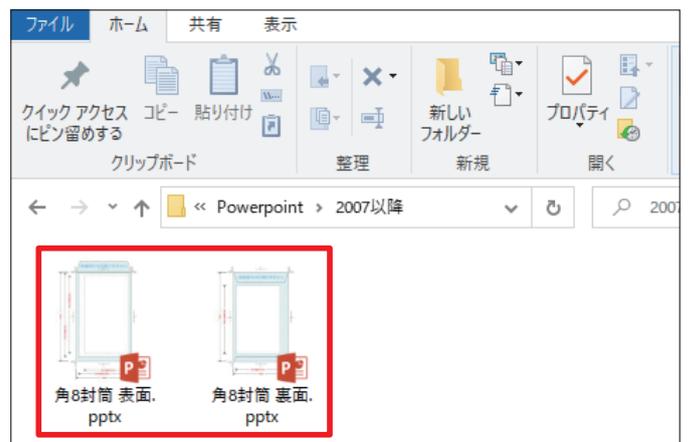
「印刷可能範囲①」と、データによっては「印刷可能範囲②」がある場合がございます。

印刷可能範囲①は、問題なく印刷が可能な範囲です。印刷可能範囲②は糊付け部分などのため、印刷にムラや段差が生じてしまう恐れがある範囲です。ご注意ください。

（詳しくは本 PDF4 ページ目の「封筒デザインについて」をご参照ください。）

「挿入」タブから文字を入力したり、図形や画像を挿入することができますので、ご自由にデザインをしてください。

（スライドマスター内のオブジェクトは編集しないようにご注意ください。）



## ② データ作成する上で ご注意ください点について

「デザイン」タブの「配色」のプレゼンテーションは、なるべくご使用されないようにお願いいたします。

とくに封筒印刷の場合、印刷範囲が定められているため、全体の背景の色が変わってしまうことにより、進行がストップしてしまいます。

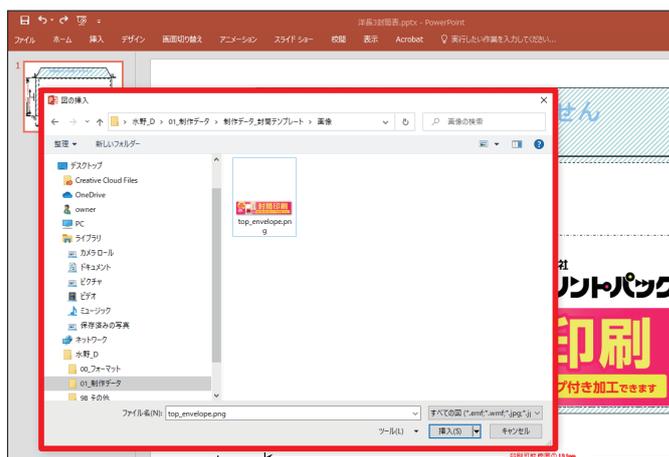
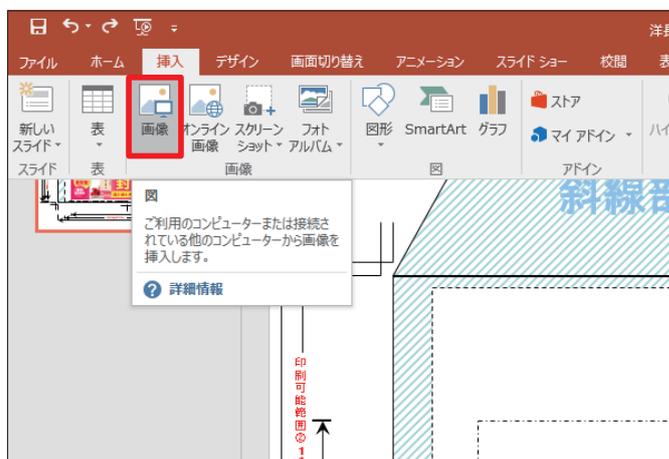
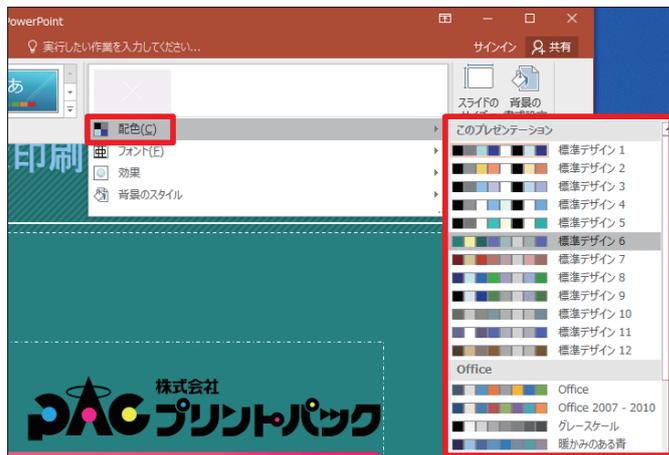
またデザインテンプレートをご使用されますと、右の画像のように弊社のテンプレートが隠れてしまいますので、「デザイン」タブの「デザインテンプレート」は使用しないでください。

画像を挿入される際は「コピー & ペースト」や「ドラッグ & ドロップ」は使用しないでください。

正しく画像の挿入が行われず、画像が印刷されない可能性があります。

画像を挿入する際には「挿入」タブから「画像」のボタンを選択し、ファイルを選んで挿入をしてください。

※説明の画像は PowerPoint2016 のキャプチャ画像です。バージョンにより表示が異なる場合がございます。



### ③ データ作成後のご入稿前に していただきたい作業について

テンプレートには仕上りの線や説明用の枠、寸法線を入れております。データの作成後、ご入稿される前には必ずこれらの不要な部分の削除をしていただきますようお願いいたします。

まず、メニューの「表示」タブから「スライドマスター」を選択します。A

つぎに、スライドマスター表示後の左側のマスタービュー内で、一番上の「マスター1」を選択してください。B

(スライドマスターの表示画面では、お客様が作成された文字や画像は表示されません。)

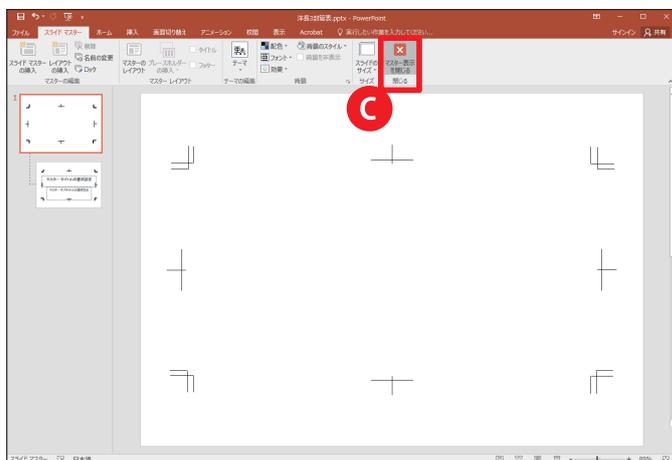
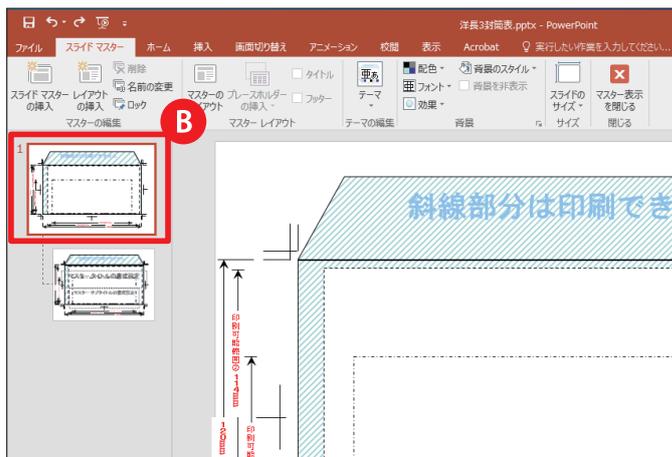
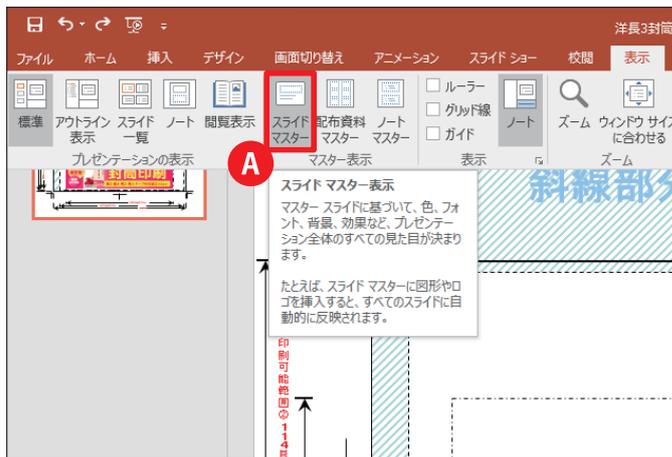
トンボ (四隅にある仕上り位置を示すもの) を残し、不要な説明用の枠や仕上りの線などを削除します。削除するにはトンボ以外のオブジェクトを選択して、キーボードの「Delete」キーを押してください。

※「Delete」キーを押しても削除できない時は、不要なオブジェクト上で右クリックし表示されるメニューから「切り取り」を選択してください。

そして「マスター表示を閉じる」を押します。C

最後にトンボと作成されたデータが表示されれば、ご入稿前の準備は完了です。

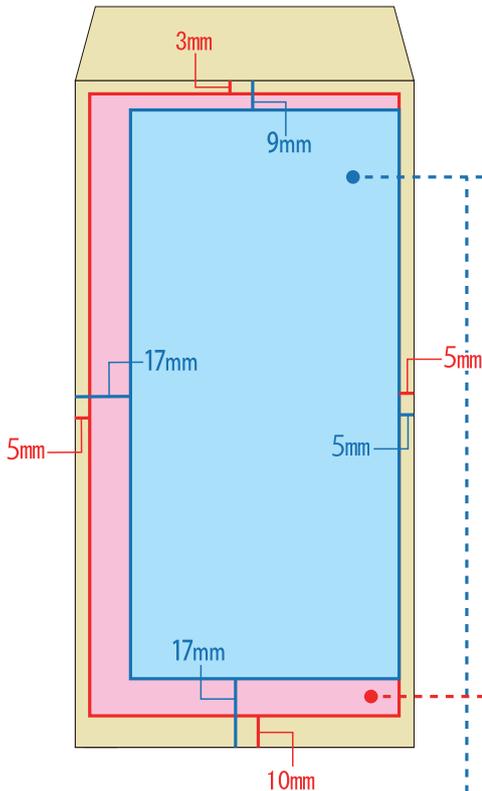
※仕上りの線や寸法線などが残ったまま、ご入稿された場合は基本的には弊社で削除を行います。削除をすることによりお客様のデザインに影響が及ぶ場合は再入稿をお願いする可能性があります。



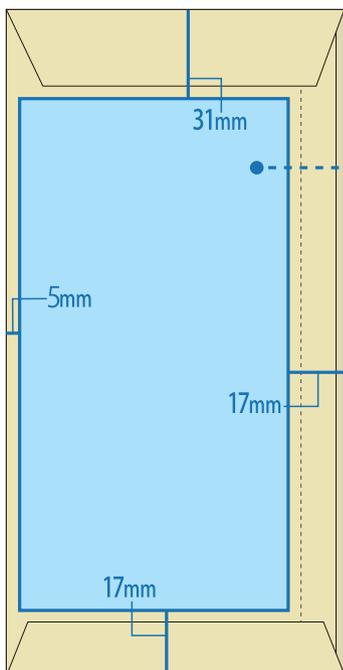
# 封筒デザインについて

封筒の特性上、印刷にムラや段差が生じる可能性の高い箇所がございます。  
下記をご確認いただき、デザインをご作成いただければ幸いです。

## 表面



## 裏面



## 弊社オススメ!

### ★印刷可能範囲①

#### 点線内側の印刷可能範囲①

ムラや段差等の問題なく、印刷が可能です。  
こちらの範囲内での印刷をお勧めさせていただいております。

## ご注意ください

### ★印刷可能範囲②

点線外側の印刷可能範囲②につきましては封筒の糊付け部分となり、ふくらみがありますので印刷にムラや段差が生じてしまう恐れがあります。デザインにより、データ通りの仕上りにならない場合があります。

#### 印刷可能範囲②にデザインされる際の注意点

#### 影響が小さいデザイン



線で構成されたオブジェクトや、塗り幅の細い文字

#### 影響が大きいデザイン



写真や、塗りの面積が広いもの

※印刷可能範囲②に配置されたデザインにつきましては影響の大小にかかわらず、進行させていただきます。

テンプレート上にガイドにて示してあります  部分におきましては印刷を行なうことができません。ご了承くださいませ。